

村民だより

～開拓の村の季節ごとの表情をお伝えする 情報誌～

VOL.43 (2018年夏号)



主なトピックス

- ☆北海道命名 150 年！
特別展「北海道の暮らし走馬灯」「まるごと昔の日」開催！
- ★夏休みは開拓の村へ！「夏・むら・ロマン」
- ☆夏休みの自由研究にいかがでしょうか？
体験イベント参加者募集！
- ★開拓の村の夏は、蚕の飼育を公開展示！



そばの白い花が咲く農村群

今年の北海道の夏は、開拓の村で開拓期当時の雰囲気を感じませんか？
幕末から昭和中期までの暮らしを振り返る特別展、当時の人々の暮らしを振り返る「まるごと昔の日」、そして夏休み期間にかけて約1か月間開催する「夏・むら・ロマン」に、夏休み自由研究向けの体験イベントなど、この夏、開拓の村で昔体験してみませんか？

北海道命名から150年
この機会に今までの北海道の歴史を感じませんか？

150年の北海道の暮らしをふりかえる
特別展「北海道の暮らし走馬灯」

北海道命名から150年、この150年は学制や憲法の発布という明治政府の施策を皮切りに、鉄道や車、電話や冷蔵庫の登場と普及など、様々な常識が更新され続けた激動の時代だったといえます。特に明治時代から昭和中期にかけては、近代化・開拓事業の進展とともに社会及び暮らしの大変革もたらされました。

今回の特別展では、北海道史をフッラッシュバックするかのごとく各年代の流行やエピソードと関連資料を展示し、みなさまに時代の流れを感じていただきます。展示には今でも身近な生活用品から、博物館でしか目にするごとのなくなった道具が並びます。



開拓の村の建造物や資料とともに時の流れをお楽しみください。

会期 6月30日(土)～8月26日(日)

場所 北海道開拓の村 ビジターセンター2階

関連イベント

①講演会「文書から知る「北海道の命名」」

現代へと遺された文書資料を丹念に分析することで見えてくる「北海道命名」の周辺事情を中心に紹介します。

7月21日(土) 13時30分～15時30分

講師 榎本洋介氏(札幌市公文書館)

定員 200名(6/22より受付)

※事前に申し込まれた方は入場無料

②体験イベント「走馬灯づくり」

8月8日(水)、9日(木)

各日①10時～12時 ②13時30分～15時30分

定員 各回12名(7/9より受付)

対象 小学生 ※夏休みの自由研究にオススメ！

明治・大正時代にタイムスリップ？「まるごと昔の日」

北海道150年記念式典が行われる8月5日(日)。開拓の村では、北海道150年記念事業として「まるごと昔の日」を開催します。

住民に扮した「むらびと」が建物の歴史などを紹介するほか、旧青山家漁家住宅ではニシン漁の時に歌われていた沖あげ音頭の演唱、旧近藤染舗では藍の生葉染め体験などの体験・実演イベントが、村内の市街地・農村・漁村のエリアで行われます。

ご家族そろって、約100年前の北海道を体験してみてください。



浴衣・着姿で来場すると入場無料サービスも！
夏・むら・ロマン でお楽しみください！

『夏・むら・ロマン』は、7月14日(土)から8月19日(日)までの約1ヶ月間開催します。期間中は、大人の方は浴衣姿などで来場すると入場料が無料となり、毎週末には、村ならではのイベントを多数開催します。
夏の情緒あふれる開拓の村で、夏のひと時をどうぞ。



★お得なサービス
着物・浴衣を着てむらびとになろう

着物や浴衣姿で来村すると、入場料が「無料」むらびと気分です。明治・大正時代の時間を過ごしませんか？

★北海道の年中行事
年中行事 七夕

期日 8月4日(土)～7日(火)
時間 各日10時～16時
折り紙で七夕飾りを作ったり、短冊に願いごとを書いて柳の木に飾りましょう。



★体験イベント
手フット印刷で名刺づくり体験

期日 期間中の土・日・祝日
時間 10時～15時30分
対象：小・中学生
自分の名前の活字をさがして昔の印刷機(手フット印刷機)で、オリジナルの名刺をつくろう！

むらで遊ぼう昔の遊び

期日 期間中の土・日・祝日
時間 12時30分～15時30分
竹馬やけん玉、コマなど、昔の遊びの"名人"と一緒に遊んで技を教わってもらおう！

★伝統文化・芸能・技術に触れる
昔話のおはなし会

期日 7月16日(月・祝)、8月4日(土)
時間 13時30分～14時30分
おじいちゃん、おばあちゃんが語る昔ばなしを楽しもう！



菓子づくりの実演

期日 7月29日(日)、8月5日(日)
時間 各日10時～15時(昼休憩有)
らくがん作りの実演を行います。出来立ての味をご堪能ください。

畳職人の実演

期日 7月29日(日)、8月5日(日)
時間 各日10時～15時(昼休憩有)
普段目にする機会がなくなった畳表の張替え作業を行う職人の仕事を体験してみください。



大道芸人の実演

期日 7月29日(日)、8月5日(日)、8月11日(土・祝)、8月12日(日)
時間 各日①11時～②14時
市街地の路地裏では、紙芝居ガマの油売り等の大道芸人が当時の雰囲気を出します。



むらの呈茶

期日 8月11日(土・祝)
時間 10時30分～14時30分
建造物内の和室で気軽に抹茶をどうぞ。

野だて

期日 8月19日(日)
(7月1日(日)も開催)
時間 11時～15時
建造物に囲まれた静かな空間でお茶席をお楽しみください。



★建造物関連イベント
旧菊田家イベント「神楽体験」

日時 8月5日(日) 11時～15時
神楽の衣装を着て記念撮影ができた、和楽器の体験ができる特別体験イベントです。

旧小川家イベント「バターづくり」

日時 7月14日(土)～16日(月・祝)、7月21日(土)～22日(日)、8月5日(日)、8月18日(土)
開始時間10時、11時30分、13時、14時30分
各回40分程度・定員10組
酪農の歴史を学びながら、バターを作って食べてみよう！
参加希望の方は、当日会場へ！
料金(一組300円)
※乳製品・小麦アレルギーの方は参加できません



お知らせ

・金額の記載がない場合は無料です
・対象の記載がないイベントはどなたでも参加できます
・天候により場所や時間帯を変更する場合があります
・混雑時はお待ちいただく場合があります、イベントにより数量限定のものがありますので無くなり次第終了します

夏は、夏休みの自由研究で、ご家族で、体験イベントに参加しませんか？

専門家と建物めぐりしませんか

学芸員トーク「むらの建物探訪」

村内を移動しながら、学芸員がリレー形式で、建造物の歴史や人びとの物語をお話します。

テーマ：「開拓期の学び舎」

日時：8月25日(土) 10:30～11:30

対象：一般 先着10名程

申込：事前申込必要(7月26日より)

※当日参加も可能、申込先は下記

たてもの観察会

毎回テーマを変えて、建物の伝統構法建築に関する解説を踏まえながら村内を巡ります！

日時：②「郷里の建築様式」 7月8日(日)

③「漁家住宅の違い」 9月8日(土)

各回10:00～11:00

対象：一般 先着20名程

申込：事前申込必要(②受付中 ③8月9日より)

※当日参加も可能、申込先は下記

毎日開催！ 伝統遊具づくり

毎月2種類の昔の遊具づくりを開催しています。

どなたでも体験できますので、ご来村の際はお気軽に体験学習棟へどうぞ！

ぜひご家族そろってお楽しみください。

期間：毎日、随時受付 料金：入場料のみ(子どもは無料)

対象：Aの遊具・・・幼児・小学校低学年より

Bの遊具・・・小学校高学年以上より



7月の遊具・・・A『ぶんぶんゴマ』、B『水鉄砲』

8月の遊具・・・A『紙とんぼ』、B『竹とんぼ』

9月の遊具・・・A『からくり屏風』、B『板返し』

※9/15～17は「吹き戻し」に変更

わらぞうりづくり教室

稲わらで、自分の足にぴったりの「わらぞうり」を作ってみよう！

日時：7月28日(土)、

7月30日(月)、

8月1日(水)

3回開催

9:30～15:00(休憩有)

対象：小学4年～6年生

(定員：各回10名)

申込：事前申込必要 6月30日より電話受付

料金：無料 ※保護者は付添で入場する場合、入場料必要

持物：汚れてもよい服装、お弁当、水筒など



親子で昔の食体験してみませんか？

れきし1day キャンプ ～むかしの食編～

今年初めての開催となる「食」をテーマにしたデイキャンプです。親子で力を合わせて、体験してみよう！

しらかばの皮で薪に火をつけて、つば釜でご飯を炊いたり、ジャガイモを蒸かしてみよう。炊きたてのご飯でおにぎりを握り、バターを作ってホクホクのじゃがいもを食べてみよう。

日時：①7月29日(日) ②8月11日(土・祝)

2回開催 各日10:00～13:00頃

対象：小学生以下の親子5組10名(定員：各回5組)

申込：事前申込必要

①6月30日より ②7月12日より電話受付

料金：一人あたり1,500円(保険代等)※入場料必要

持物：水筒、汚れてもよい服装など

稲わらで「なわとび」を作って遊ぼう

稲わらで、長～い縄を作って遊んでみよう。気軽に参加できるわら細工の入門編です。

日時：7月28日(土)、30日(月)、8月1日(水)

3回開催 受付11:00～14:30(時間内随時)

対象：どなたでも参加できます

申込：申込不要 当日お越しください

料金：入場料のみ

持物：汚れてもよい服装

日本画を描こう！

建造物内にある掛け軸やふすま絵を見ながら日本古来の画法や様式を学びながら、日本画材を使って「うちわ」に模様を描いてみましょう！

日時：8月2日(木)

①10:30～ ②13:00～ ③14:30～

対象：小学4年生以上(定員：各回10名)

申込：事前申込必要 7月3日より電話受付

料金：入場料のみ必要(子どもは無料)

料金の記載のないイベントは、
入場料のみで参加体験できます

電話での申込はTEL011-898-2692開拓の村まで
(受付時間：9:00～17:00)

子どもたちが描くむらの建物 第36回 開拓の村児童写生会

今年で36回を数える「開拓の村のただすまい」をテーマにした児童写生会は、毎年、歴史的建造物や景観などを思い思いに描いてもらっています。そして子供たちの目線から見た村内の建造物を描いた感性豊かで素敵な作品が多数寄せられます。

今年も7月14日(土)～16日(月・祝)の3日間の開催となり、ご参加希望の方は、予約不要となっていますので当日お越しください。

なお、期間中提出いただいた全作品は、9月1日(土)から10月31日(水)の期間に村内の旧北海道中学校で展示します。



◆開催期間◆

7月14日(土)～16日(月・祝) 9時～17時

◆参加対象◆

小学生以下の子ども(当日お越しください)

◆持ち物◆

絵の具や鉛筆などの筆記用具、画板、お弁当などをお持ちください。画用紙(四つ切 392mm×542mm)は、当日お配りします。また、「へんてく」のご協力により当日画材などの販売を行います。
★レジャーシート、アウトドア用のイスなどがあると便利です

◆料金◆

参加料・入場料ともに無料
付添の大人の方は、割引料金で入場できます

夏の風物詩 蚕の飼育

夏の「むら」といえば『蚕の飼育』も恒例の風物詩。

かつて北海道でも盛んに行われていた養蚕業の歴史を紹介するため、農村群の「旧田村家北誠館蚕種製造所」で蚕を飼育します。7月21日(土)より行い、蚕が繭を作るまでの約1ヶ月間、蚕の姿を通して北海道の養蚕の歴史を振り返ることができます。



北海道博物館特別展もどうぞ！

『幕末維新を生きた旅の巨人』

松浦武四郎』開催

北海道博物館の特別展も合わせてご覧いただく、よりの当時の北海道の姿、そして今に至るまでの北海道の歴史を深く知ることが出来ます。

北海道の名付け親と呼ばれる松浦武四郎 幕末期に北海道を6回踏査し、アイヌ民族の生活状況などを克明に記録したことはよく知られています。彼はまた、幕末の志士や政治家、学者、文人との幅広い交流の中で「情報通」や「蒐集家」としても有名だったことなど、これまであまり知られていない顔も持っています。強い好奇心と情熱のもと、旅に生き、幕末維新という激動の時代の諸相を集めて、伝えようとした、その希代の生涯をたどります。

【会期】6月30日(土)～8月26日(日)

※本展の入場料・休館日等は特別展チラシをご覧ください

「村民だより」は、開拓の村と皆様との交流誌でもあります。開拓の村に関するご要望・ご質問などございましたら、お手紙・FAXで【北海道開拓の村「村民だより」係】までお寄せください。次号の発行は8月末頃で、主なトピックスは、「秋のふるさとまつり」、「紅葉のむら・宵のたてもライトアップ」等の予定です。

編集/発行) 指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団 発行日：2018年6月30日 (Vol.43 2018年夏号)

野外博物館 北海道開拓の村

営業期間 5～9月 9:00～17:00(入村は16:30まで)
この期間無休で営業します
10～4月 9:00～16:30(入村は16:00まで)
毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)
12/29～1/3が休み ※2019年2月4日は臨時開館

入場料金 開拓の村年間パス「村民パスポート」1,500円
一般 800円 高校・大学生 600円
北海道博物館共通入場券一般1,200円、高校・大学生700円
中学生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料
高校生は毎週土曜日・子供の日・文化の日への入場、通年で学校・社会教育等で利用する10名以上の団体は無料

駐車場 無料駐車場(400台収容)

住所 〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌50-1

お問合せ TEL) 011-898-2692 メール) info@kaitaku.or.jp URL) http://www.kaitaku.or.jp

アクセス 地下鉄東西線「新さっぽろ駅」、JR千歳線「新札幌駅」下車、新札幌バスターミナル北レーン10番乗り場よりJR北海道バス「開拓の村」行き乗車。終点下車すぐ

